

# サテライト投資戦略ファンド(株式型) (愛称:サテラップ(株式型))

追加型投信／内外／資産複合

## 交付運用報告書

第9期(決算日 2024年2月19日)  
(作成対象期間 2023年2月18日～2024年2月19日)

### 当期末

基準価額	15,024円
純資産総額	9,401百万円
騰落率	17.5%
分配金合計	0円

(注1) 以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。

(注2) 騰落率は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

- 口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。
- 当運用報告書についてのお問い合わせ  
フリーダイヤル:0120-668001  
(受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。)

#### SMTAM投信関連情報サービス



お客様が指定されたファンドに関する情報(基準価額、レポート)や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。

※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。

※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。当ファンドは、主として、日本を含む先進国及び新興国の株式、株式代替資産及びその他の様々な資産並びにヘッジファンドを実質的な投資対象とする投資対象ファンドに分散投資しました。ここに期間中の運用状況についてご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

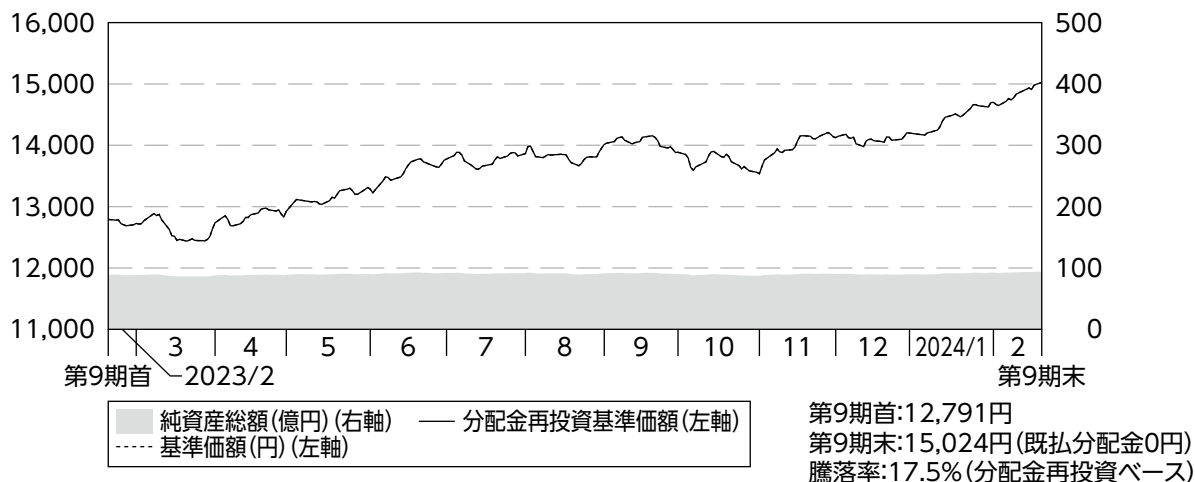
〒105-0011 東京都港区芝公園一丁目1番1号

ホームページ <https://www.smtam.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記ホームページにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

## 運用経過の説明

### 1 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2023年2月17日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

## 運用経過の説明

### 2 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は上昇しました。当期後半に日本の主要企業の好決算や円安・ドル高が進行したことで国内株式が堅調に推移したほか、欧米の物価指標鈍化を受けて早期の利下げ期待が高まったことや米国経済が軟着陸に向かうとの見方が支えとなり先進国株式のパフォーマンスも堅調となったことなどから、基準価額は上昇しました。当ファンドの投資対象ファンドの騰落率は以下の通りです。

組入ファンド	投資資産※1※2	当作成対象 期間末組入比率	騰落率
FOFs用国内株式エンハスト運用戦略ファンド(適格機関投資家専用)	国内株式	2.9%	33.0%
中小型株式 マザーファンド	国内株式	1.4%	11.7%
国内株式インデックス マザーファンド	国内株式	7.4%	35.9%
日本株式ESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド	国内株式	1.5%	36.9%
国内株式アクティブバリューファンド(適格機関投資家専用)	国内株式	5.9%	41.0%
日本長期成長株集中投資ファンド(適格機関投資家専用)	国内株式	4.3%	35.3%
FOFs用国内株式EVIバリューファンド(適格機関投資家専用)	国内株式	5.8%	47.8%
外国株式インデックス マザーファンド	外国株式	4.9%	33.9%
外国株式ESGリーダーズインデックスマザーファンド	外国株式	1.7%	36.8%
新興国株式インデックス マザーファンド	外国株式	1.6%	14.0%
グローバル株式コンセントレイト・ファンド(適格機関投資家専用)	外国株式	4.7%	29.4%
ブランディワイン・グローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)	外国株式	4.7%	17.5%
ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式 ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)	外国株式	4.7%	23.2%
世界エクイティ・ファンド(適格機関投資家向け)	外国株式	4.8%	23.6%
Capital Group New Economy Fund (LUX) Class ZL	外国株式	4.7%	40.4%
J-REITインデックス マザーファンド	国内リート	4.5%	△2.3%
グローバルREITインデックス マザーファンド	海外リート	4.9%	11.6%
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)	ヘッジファンド等	4.2%	2.2%
ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド	ヘッジファンド等	2.5%	2.0%
FOFs用MAN AHL ダイバーシファイドリンクファンド(適格機関投資家専用)	ヘッジファンド等	1.8%	△4.8%
米国株式LSマザーファンド	ヘッジファンド等	3.5%	14.9%
コモディティLSアルファ・マザーファンド	ヘッジファンド等	3.0%	△1.1%
GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)	ヘッジファンド等	1.7%	△1.7%
ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	ヘッジファンド等	3.0%	△8.2%
ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	ヘッジファンド等	2.3%	△9.9%
MA Hedge Fund Strategies Limited	ヘッジファンド等	3.1%	0.3%
MANAGED FUND / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR	ヘッジファンド等	1.5%	4.2%
米国株式イントラデイトレンド戦略マザーファンド	ヘッジファンド等	1.7%	0.7%

※1 リートとは、不動産投資信託証券のことをいいます。本報告書では、同様の記載をすることがあります。

※2 外国株式には、先進国および新興国の株式に投資するファンドが含まれます。

(注1) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 期中に組み入れたファンドの騰落率は当ファンドへの組入日からのものです。

## 運用経過の説明

### 3 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2023年2月18日~2024年2月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	223円	1.637%	(a) 信託報酬 = [期中の平均基準価額] × 信託報酬率 期中の平均基準価額は13,647円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。 委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(投信会社)	(140)	(1.029)	
(販売会社)	(75)	(0.553)	
(受託会社)	(8)	(0.055)	
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b) 売買委託手数料 = $\frac{[期中の売買委託手数料]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(0)	(0.001)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(商品)	(-)	(-)	
(先物・オプション)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{[期中の有価証券取引税]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(新株予約権証券)	(-)	(-)	
(オプション証券等)	(-)	(-)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(-)	(-)	
(公社債)	(-)	(-)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.017	(d) その他費用 = $\frac{[期中のその他費用]}{[期中の平均受益権口数]} \times 10,000$ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
(保管費用)	(2)	(0.012)	
(監査費用)	(1)	(0.006)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	225	1.658	

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

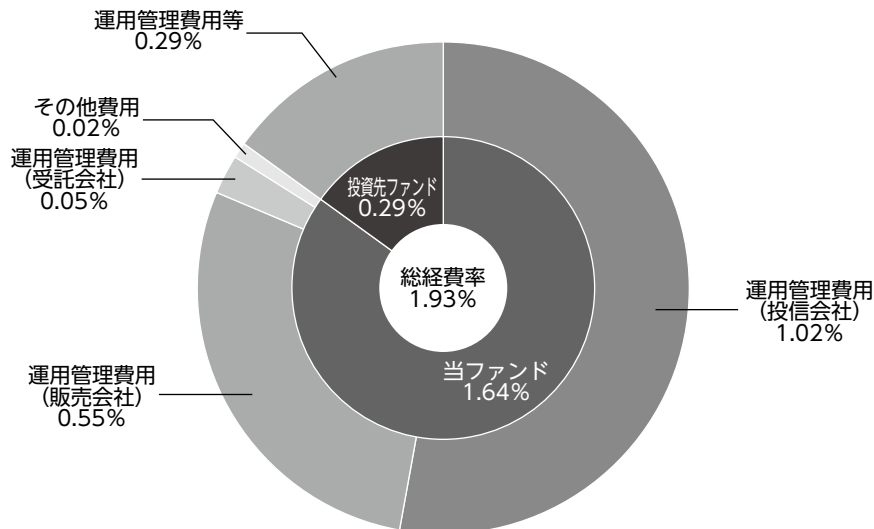
(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません(マザーファンドを除く)。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示しております。

## 運用経過の説明

### <参考情報>

#### 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.93%です。



総経費率(①+②)	1.93%
①当ファンドの費用の比率	1.64%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.29%

(注1)当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3)各比率は、年率換算した値です。

(注4)投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)です。

(注5)当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6)当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7)投資先ファンドの費用は投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。

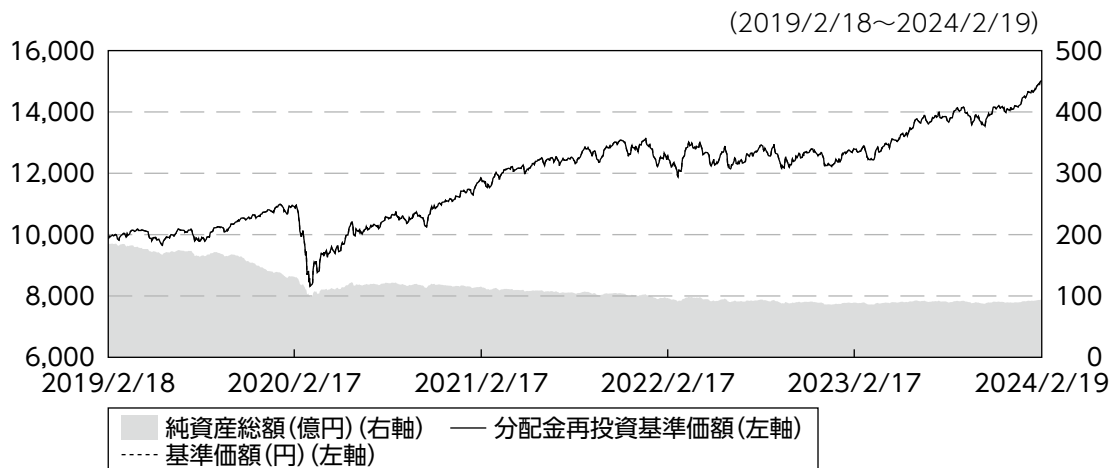
(注8)投資先ファンドの運用管理費用の比率は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用している場合があります。

(注9)投資先ファンドの運用管理費用等の比率には、個々の投資先ファンドに応じて把握可能な場合には、運用管理費用以外の費用も含まれます。

(注10)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 運用経過の説明

### 4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したもものとして計算しております。

(注2) 分配金再投資基準価額は、2019年2月18日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

	2019年2月18日 決算日	2020年2月17日 決算日	2021年2月17日 決算日	2022年2月17日 決算日	2023年2月17日 決算日	2024年2月19日 決算日
基準価額 (円)	9,864	10,917	11,845	12,563	12,791	15,024
期間分配金合計(税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.7	8.5	6.1	1.8	17.5
純資産総額 (百万円)	18,337	13,138	11,518	9,679	8,916	9,401

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

### 5 投資環境

#### ○国内株式市場

国内株式は上昇しました。

当期前半は、東証のPBR1倍割れは正要請などから外国人による買いが鮮明となり上昇しました。その後は、日本の主要企業の好決算や円安・ドル高の進行、さらに米長期金利の低下を受けた米国株の上昇が支えとなり、上昇基調で推移しました。

#### ○先進国株式市場

先進国株式は上昇しました。

当期前半は欧米のインフレ鈍化の兆しが見られたことなどをを受けて堅調に推移しましたが、2023年8月以降には米国の金融引き締め長期化が意識されたことを受けて、株価は下落しました。その後は、欧米の物価指標鈍化を受けて早期の利下げ期待が高まったことや米国経済が軟着陸に向かうとの見方が支えとなり、上昇しました。

#### ○新興国株式市場

新興国株式は上昇しました。

当初は米中対立の激化が懸念されたことを受けて、株価は下落しました。2023年8月にかけては、中国当局による不動産市場へのさらなる緩和姿勢や地方債務問題に取り組む方針などが好感され上昇しましたが、米国の金融引き締めの長期化が意識され新興国株が売られました。年末にかけて、世界的な利上げサイクルが終盤に近づいたことを受けて株価は上昇しました。年明け以降は、中国の景況感の悪化などを背景に一時下落したものの、当期末にかけては世界的な株価の上昇などが支援材料となり、上昇に転じました。

#### ○国内リート市場

国内リートは下落しました。

当初は次期日銀総裁候補の金融政策を巡る不透明感が意識されて始まった後、植田新総裁就任後初回となる日銀金融政策決定会合で現行の金融緩和の継続が確認されたことなどから、7月後半にかけて上昇しました。その後も、ジャクソンホール会議でのパウエルFRB(米連邦準備理事会)議長の講演などを受け、8月末にかけて上昇しました。11月末にかけては、一進一退の展開となりました。12月中旬にかけては日銀金融政策決定会合を控える中、徐々に様子見姿勢が強まり軟調に推移したものの、その後は日銀金融政策決定会合で金融政策の現状維持が決定されたことを受け、上昇しました。当期末にかけては、日銀の金融政策正常化に伴う利上げへの根強い警戒感などから、国内リート市場は大幅に下落しました。

### 5 投資環境

#### ○海外リート市場

海外リートは概ね横ばいとなりました。

当期の前半は経済指標や各国中央銀行の利上げトレンドの転換を巡る動向を受けて一進一退で推移しました。9月以降は、米国を中心とした金利上昇を受けて相対的に投資妙味が薄れたことから、大幅に下落しました。11月以降は、欧米の中央銀行による利上げ観測の後退を背景に上昇しました。2024年1月から期末にかけては、米国での利下げ観測の後退や欧州での景況感指標の低迷を受けて軟調に推移しました。

#### ○ゴールド市場

当期のゴールドは上昇しました。

当期初から4月にかけては、弱含む経済指標を背景とした米国金利の低下を背景に上昇しました。その後は、FRBによる利上げ観測が強まり米長期金利が上昇したことや米ドル高が進行したことなどを背景に軟調に推移しました。10月以降は、中東における地政学リスクの高まりを背景とした質への逃避から再び上昇基調となり、ゴールドは前期末比で上昇しました。



### 6 当ファンドのポートフォリオ

#### ○当ファンド

日本を含む先進国および新興国の株式、不動産投資信託証券(REIT)など株式代替資産およびその他の様々な資産ならびにヘッジファンド等を実質的な投資対象とする投資対象ファンドに分散投資し、各資産の期待リターンやリスク、各資産間の相関係数、投資対象ファンドのリターン・リスク特性を踏まえた目標配分比率に基づきポートフォリオの組成を行い、中長期的な安定収益の獲得を目指したファンド運営を行いました。

#### ・外国株式インデックス マザーファンド

外国株式資産の投資割合の見直しに伴う目標配分比率の変更により、当期末時点における組入比率は4.9%となりました。

#### ・世界エクイティ・ファンド(適格機関投資家向け)

外国株式資産の投資割合の見直しに伴い新規に組み入れ、当期末時点における組入比率は4.8%となりました。

#### ・ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド(FOFs用) (適格機関投資家専用)

外国株式資産の投資割合の見直しに伴い新規に組み入れ、当期末時点における組入比率は4.7%となりました。

#### ・ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)

ヘッジファンド資産の投資割合の見直しに伴う目標配分比率の変更により、当期末時点における組入比率は4.2%となりました。

#### ・Wellington Emerging Markets Research Equity Fund Class J

外国株式資産の投資割合の見直しに伴い全部売却を行ったことから、当期末時点における組入はありません。

## 運用経過の説明

### 6 当ファンドのポートフォリオ

組入ファンド	当期首(前期末)	当期末	差
外国株式インデックス マザーファンド	15.7%	4.9%	△10.9%
世界エクイティ・ファンド(適格機関投資家向け)	—	4.8%	+4.8%
ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	—	4.7%	+4.7%
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)	7.1%	4.2%	△2.9%
Wellington Emerging Markets Research Equity Fund Class J	2.8%	—	△2.8%
国内株式インデックス マザーファンド	10.1%	7.4%	△2.7%
グローバル株式コンセントレイト・ファンド(適格機関投資家専用)	2.9%	4.7%	+1.8%
Capital Group New Economy Fund (LUX) Class ZL	2.9%	4.7%	+1.8%
ブランディワイン・グローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)	2.9%	4.7%	+1.7%
GBCAマザーファンド(ミドルリスク型)	—	1.7%	+1.7%
新興国株式インデックス マザーファンド	—	1.6%	+1.6%
日本長期成長株集中投資ファンド(適格機関投資家専用)	2.8%	4.3%	+1.6%
MANAGED FUND / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR	—	1.5%	+1.5%
FOFs用国内株式EVIバリューファンド(適格機関投資家専用)	4.5%	5.8%	+1.2%
J-REITインデックス マザーファンド	5.7%	4.5%	△1.2%
コモディティLSアルファ・マザーファンド	4.0%	3.0%	△1.0%
ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド	3.4%	2.5%	△0.9%
ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用)	3.7%	3.0%	△0.7%
FOFs用MAN AHL ダイバーシファイドリンクファンド(適格機関投資家専用)	1.4%	1.8%	+0.4%
グローバルREITインデックス マザーファンド	5.2%	4.9%	△0.3%
米国株式LSマザーファンド	3.2%	3.5%	+0.3%
外国株式ESGリーダーズインデックスマザーファンド	1.4%	1.7%	+0.3%
ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用)	2.0%	2.3%	+0.2%
MA Hedge Fund Strategies Limited	2.9%	3.1%	+0.2%
日本株式ESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド	1.4%	1.5%	+0.1%
米国株式イントラデイ・トレンド戦略マザーファンド	1.6%	1.7%	+0.1%
国内株式アクティブバリューファンド(適格機関投資家専用)	5.8%	5.9%	+0.1%
FOFs用国内株式エンハンスド運用戦略ファンド(適格機関投資家専用)	3.0%	2.9%	△0.1%
中小型株式 マザーファンド	1.4%	1.4%	+0.0%

(注)比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 運用経過の説明

### 7 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用の基本方針に適した指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を特定しておりません。

### 8 分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

(1万口当たり・税引前)

項目	第9期	
	2023年2月18日~2024年2月19日	
当期分配金	(円)	—
(対基準価額比率)	(%)	(—)
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	5,344

(注1)「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税引前)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)—印は該当がないことを示します。

## 今後の運用方針

主として、日本を含む先進国及び新興国の株式、株式代替資産及びその他の様々な資産並びにヘッジファンドを実質的な投資対象とする投資対象ファンドに分散投資します。

各資産及び各投資対象ファンドへの配分比率は、各資産の期待リターンやリスク、各資産間の相関係数、各投資対象ファンドのリターン・リスク特性等をもとに決定します。各資産及び各投資対象ファンドへの配分比率は定期的な見直しを行うほか、市場環境等に応じて変更を行います。また適宜リバランスを行います。なお、全ての資産及び投資対象ファンドに投資するとは限りません。

投資対象ファンドについては、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、投資対象ファンドとして定められていた投資信託証券が投資対象ファンドから除外されること、もしくは新たな投資信託証券が投資対象ファンドとして定められることがあります。

## お知らせ

投資対象とする投資信託証券を追加するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2023年5月18日)

投資対象とする投資信託証券を削除するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更日:2023年11月18日)

実質信託報酬率がレンジの上限近くまで上昇していることから、ポートフォリオ改善に係る自由度・機動性の確保を目的として、運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担の上限を以下の通り変更しました。

実質的な負担(新)	実質的な負担(旧)
年率1.628%~ <u>2.18965%</u> 程度(税抜1.48%~ <u>2.0013%</u> 程度)	年率1.628%~ <u>1.95965%</u> 程度(税抜1.48%~ <u>1.8013%</u> 程度)

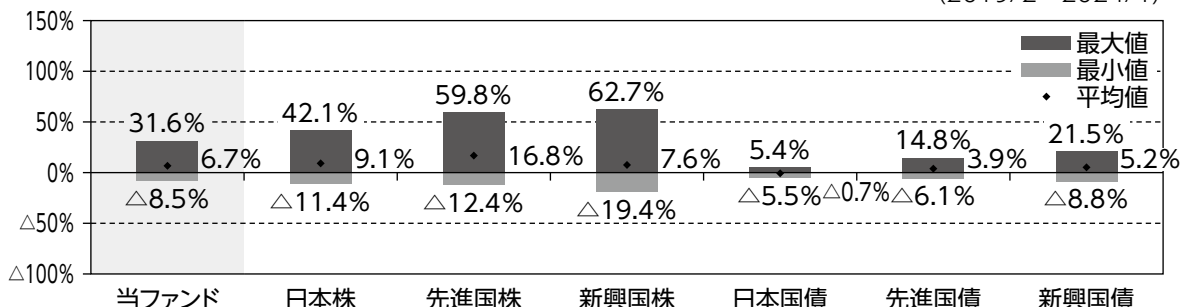
(変更日:2023年11月18日)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	信託期間は2015年6月16日から2026年2月17日までです。
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	以下の投資信託証券(以下「投資対象ファンド」といいます。)を主要投資対象とします。 FOFs用国内株式エンハンス運用戦略ファンド(適格機関投資家専用) 中小型株式 マザーファンド 国内株式インデックス マザーファンド 日本株式ESGセレクト・リーダーズインデックスマザーファンド 国内株式アクティブバリューファンド(適格機関投資家専用) 日本長期成長株集中投資ファンド(適格機関投資家専用) FOFs用国内株式EVIバリューファンド(適格機関投資家専用) 外国株式インデックス マザーファンド 外国株式ESGリーダーズインデックスマザーファンド 新興国株式インデックス マザーファンド グローバル株式コンセントレイト・ファンド(適格機関投資家専用) ブランディワイン・グローバル株式ファンド(適格機関投資家専用) ニッセイ／サンダース・グローバルバリュー株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用) 世界エクイティ・ファンド(適格機関投資家向け) Capital Group New Economy Fund (LUX) Class ZL J-REITインデックス マザーファンド グローバルREITインデックス マザーファンド ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり) BlueBay Investment Grade Absolute Return Bond Fund – クラスS-JPY ピクテ マルチストラテジー リンク マザーファンド FOFs用MAN AHL ダイバーシファイド リンクファンド(適格機関投資家専用) 米国株式LSマザーファンド コモディティLSアルファ・マザーファンド GBCAマザーファンド(ミドルリスク型) ノムラFOFs用 日本株ベータヘッジ戦略ファンド(適格機関投資家専用) ウエスタン・カレンシー・アルファ・ファンドS(適格機関投資家専用) MA Hedge Fund Strategies Limited MANAGED FUND / Graham Quant Macro Fund Limited Class BR 米国株式イントラデイ・トレンド戦略マザーファンド
運用方法	主として、日本を含む先進国及び新興国の株式、株式代替資産 <sup>*1</sup> 及びその他の様々な資産並びにヘッジファンドを実質的な投資対象とする投資対象ファンド <sup>*2</sup> に分散投資します。 各資産及び各投資対象ファンドへの配分比率は、各資産の期待リターンやリスク、各資産間の相関係数、各投資対象ファンドのリターン・リスク特性等をもとに決定します。各資産及び各投資対象ファンドへの配分比率は定期的な見直しを行うほか、市場環境等に応じて変更を行います。また適宜リバランスを行います。なお、全ての資産及び投資対象ファンドに投資するとは限りません。 投資対象ファンドについては、定性・定量評価等により適宜見直しを行います。この際、投資対象ファンドとして定められていた投資信託証券が投資対象ファンドから除外されること、もしくは新たな投資信託証券が投資対象ファンドとして定められることがあります。 <sup>*1</sup> この投資信託において、株式代替資産とは、不動産投資信託証券(REIT)、マスター・リミテッド・パートナーシップ(MLP)、転換社債(CB)、その他上場有価証券、その他委託会社が株式と一定程度の類似性があると判断する資産等を指します。 <sup>*2</sup> ヘッジファンドを実質的な投資対象とする投資対象ファンドとは、実質的に金利、債券、株式、リート、為替、コモディティ等に対する裁定取引やデリバティブ取引等を積極的に活用するファンド、又は各種ヘッジファンド指数に概ね連動する投資成果を目標とするファンドを指します。
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019/2~2024/1)



(注1) 2019年2月~2024年1月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。

(注2) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注3) 各資産クラスの指数

日本株・・・ TOPIX(東証株価指数) (配当込み)\*1

先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)\*2

新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)\*3

日本国債・・・ NOMURA-BPI国債\*4

先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)\*5

新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド(円ベース)\*6

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。

\*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

\*1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数の指数値及び同指数に係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

\*2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

\*3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。

\*4 NOMURA-BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスに計算されます。同指数の知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

\*5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

\*6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

## 当ファンドのデータ

### 1 当ファンドの組入資産の内容

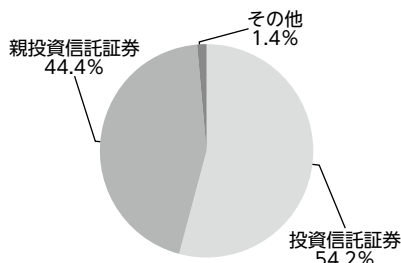
#### ○組入上位ファンド

順位	ファンド名	当期末
		2024年2月19日
1	国内株式インデックス マザーファンド	7.4%
2	国内株式アクティブバリューファンド(適格機関投資家専用)	5.9%
3	FOFs用国内株式EVIバリューファンド(適格機関投資家専用)	5.8%
4	グローバルREITインデックス マザーファンド	4.9%
5	外国株式インデックス マザーファンド	4.9%
6	世界エクイティ・ファンド(適格機関投資家向け)	4.8%
7	Capital Group New Economy Fund (LUX) Class ZL	4.7%
8	グローバル株式コンセントレイト・ファンド(適格機関投資家専用)	4.7%
9	ニッセイ/サンダース・グローバルバリュー株式ファンド(FOFs用)(適格機関投資家専用)	4.7%
10	ブランディワイン・グローバル株式ファンド(適格機関投資家専用)	4.7%
組入ファンド数		28

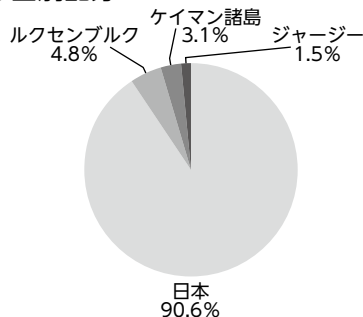
(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

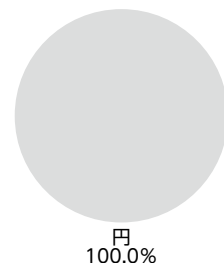
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



(注) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

### 2 純資産等

項目	第9期末
	2024年2月19日
純資産総額	9,401,714,979円
受益権総口数	6,257,846,873口
1万口当たり基準価額	15,024円

※当期間中における追加設定元本額は62,444,897円、同解約元本額は775,139,085円です。

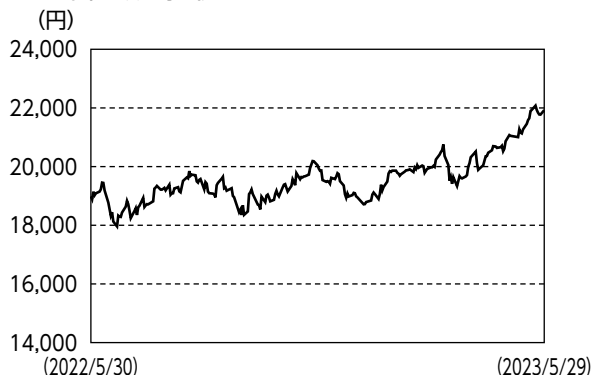
## 当ファンドのデータ

### 3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

#### 国内株式インデックス マザーファンド

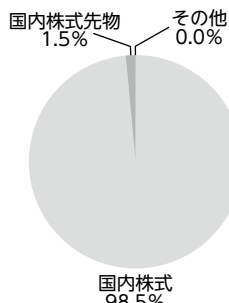
##### ○基準価額の推移



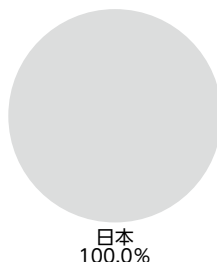
##### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	トヨタ自動車	日本	3.4%
2	ソニーグループ	日本	3.0%
3	キーエンス	日本	2.2%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	1.8%
5	日本電信電話	日本	1.7%
6	東証株価指数先物 2306	日本	1.5%

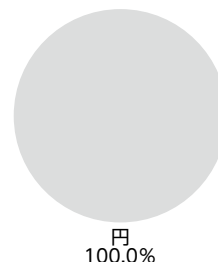
##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



##### ○1万口当たりの費用明細

(2022年5月31日~2023年5月29日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	0円 (0) (0)
合計	0

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	東京エレクトロン	日本	1.3%
8	三井住友フィナンシャルグループ	日本	1.3%
9	武田薬品工業	日本	1.3%
10	日立製作所	日本	1.3%
組入銘柄数		2,086	

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月29日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未取・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注4) 国別配分においては、上記の他、オフバランスで国内株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して1.5%買建てております。



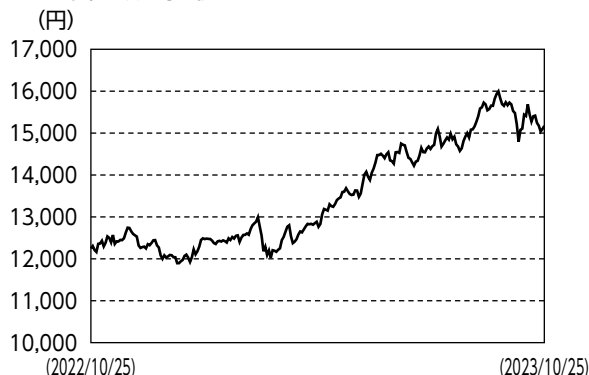
## 当ファンドのデータ

### 3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

#### 国内株式アクティブバリューファンド(適格機関投資家専用)

##### ○基準価額の推移



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

##### ○上位10銘柄

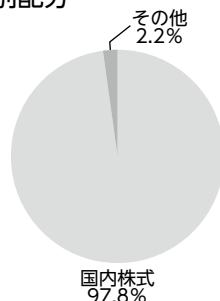
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	ソニーグループ	日本	3.4%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	3.3%
3	三井住友フィナンシャルグループ	日本	3.3%
4	トヨタ自動車	日本	3.2%
5	本田技研工業	日本	2.6%
6	ソフトバンクグループ	日本	2.5%

##### ○1万口当たりの費用明細

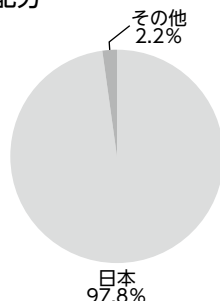
(2022年10月26日~2023年10月25日)

項目	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	70円 (64) (1) (4)
(b) 売買委託手数料 (株式)	17 (17)
(c) その他費用 (監査費用) (印刷費用等) (その他)	1 (0) (0) (0)
合計	88

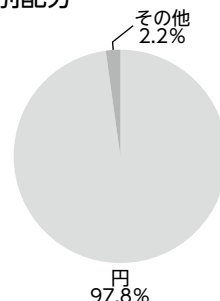
##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	三菱商事	日本	2.1%
8	日立製作所	日本	2.1%
9	日東紡績	日本	1.7%
10	伊藤忠商事	日本	1.7%
組入銘柄数		100	

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年10月25日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のもので、費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。なお、(c) その他費用の(印刷費用等)は、法定開示資料の印刷に係る費用など、(その他)は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用です。

(注3) 資産別・国別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。  
※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

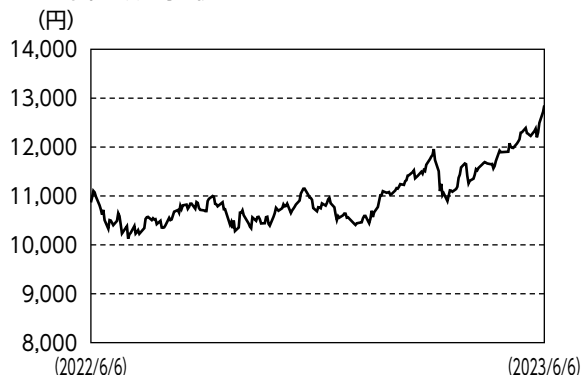
## 当ファンドのデータ

### 3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

#### FOFs用国内株式EVIバリューファンド(適格機関投資家専用)

##### ○基準価額の推移



(注) グラフの基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものととして当社が別途計算したものです。

##### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	トヨタ自動車	日本	5.8%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本	5.7%
3	日立製作所	日本	4.3%
4	三菱電機	日本	3.7%
5	パナソニック ホールディングス	日本	3.6%
6	日本製鉄	日本	3.3%

##### ○1万口当たりの費用明細

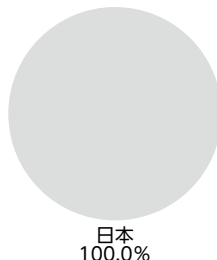
(2022年6月7日~2023年6月6日)

項目	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	54円 (51) (1) (2)
(b) 売買委託手数料 (株式)	20 (20)
(c) その他費用 (監査費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	75

##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	本田技研工業	日本	3.1%
8	スズキ	日本	3.0%
9	SCREENホールディングス	日本	3.0%
10	MS&ADインシュアランスグループホールディングス	日本	2.9%
組入銘柄数			48

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年6月6日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。なお、(c)その他費用の(その他)は、信託事務の処理等に要するその他費用です。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。

※上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、当該ファンドが投資対象とするマザーファンドの内容を記載しています。

※当該ファンドの運用会社からの情報に基づき掲載しています。

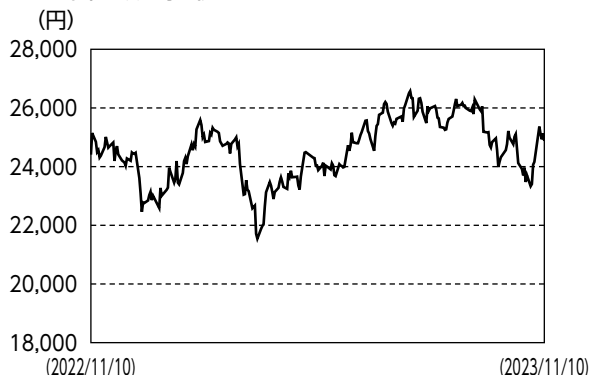
## 当ファンドのデータ

### 3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

#### グローバルREITインデックス マザーファンド

##### ○基準価額の推移



##### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	PROLOGIS INC	アメリカ	8.2%
2	EQUINIX INC	アメリカ	6.1%
3	WELLTOWER INC	アメリカ	4.0%
4	PUBLIC STORAGE	アメリカ	3.3%
5	DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ	3.3%
6	SIMON PROPERTY GROUP	アメリカ	3.2%

##### ○1万口当たりの費用明細

(2022年11月11日~2023年11月10日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券)	1円 (1)
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	3 (3)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	9 (9) (0)
合計	13

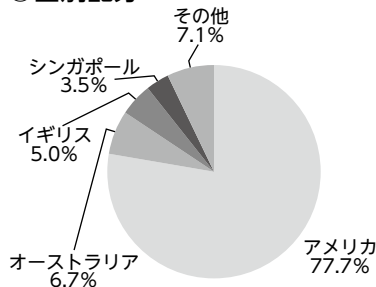
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	REALTY INCOME CORP	アメリカ	3.0%
8	VICI PROPERTIES INC	アメリカ	2.4%
9	EXTRA SPACE STORAGE INC	アメリカ	2.1%
10	GOODMAN GROUP	オーストラリア	2.1%
組入銘柄数			308

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

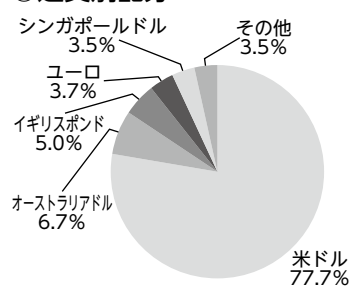
##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



(注1) 上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年11月10日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3) 資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

## 当ファンドのデータ

### 3 組入上位ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

#### 外国株式インデックス マザーファンド

##### ○基準価額の推移



##### ○上位10銘柄

順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	APPLE INC	アメリカ	5.4%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	4.5%
3	AMAZON.COM	アメリカ	2.1%
4	NVIDIA CORP	アメリカ	1.8%
5	S&P 500 EMIN 2306	アメリカ	1.8%
6	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	1.4%

##### ○1万口当たりの費用明細

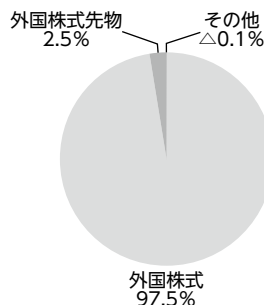
(2022年5月31日~2023年5月29日)

項目	
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託証券) (先物・オプション)	1円 (1) (0) (1)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託証券)	1 (1) (0)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	12 (12) (0)
合計	14

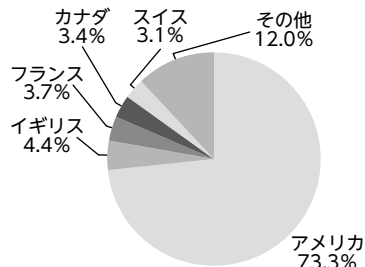
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
7	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	1.3%
8	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	1.1%
9	TESLA INC	アメリカ	1.0%
10	UNITEDHEALTH GROUP INC	アメリカ	0.9%
組入銘柄数			1,276

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

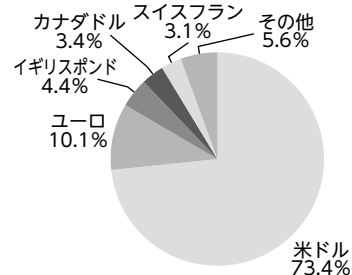
##### ○資産別配分



##### ○国別配分



##### ○通貨別配分



(注1)上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2023年5月29日現在のものです。

(注2)1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

(注3)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未取・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

(注4)国別配分においては、上記の他、オフバランスで外国株式先物を想定元本ベースで純資産総額に対して2.5%買建てております。